

内部講習「本格施行メカダーツ組立講習」報告書

2013/11/26

- 受講者：内野・桶田・原田・中村・角田・鈴木・船本・中澤（中川：企画／記録）
講師：佐藤宏（ものづくり系班長）
特別参加教員：青木・大久保（進）・松田・古川・大沼・小林（美）

■ 開講の経緯

2012年から新カリキュラムとして始まった混合学級における実験実習の工学基礎Ⅱという授業において、技術室は通年多くの職員がその補助業務を行っている。工学基礎Ⅱの第三期にはPBL授業としてメカトロダーツを行った。2013年はダーツロボットをレゴとメカの2種類選択できるように行うことが決まっていた。メカダーツについてはベールに包まれたままであったが、授業の際に有効な補助を行うため技術職員内部で組立講習会を行い、その構造などを理解するため企画した。

このような経緯から今回は技術室内部にとどまらず、関係する教員の方にも案内をさせていただいたところ、多くの先生に参加いただけた。

■ 日時

2013年11月26日15:00-

■ 内容

メカダーツロボットを試作改良行った佐藤技術専門職員に講師となってもらい、授業で使用できるようなテキストを作成し、それを元に組み立てを行った。

概要説明

- ・ 開講
- ・ パーツ確認
- ・ 組み立て
- ・ 試射





■所感

講師：佐藤宏

昨年度から、本格志向のパーツの設計及び部品の加工・汎用部品の選定を行ってきた。自分が組立を行うのと違い、初めて手にする人が組み立てて、どのようになるか掴めない部分があった。難しい組立方法にならないよう設計にしたつもりであったが、組立手順の修正が必要な部分もあり、今回の講習は大変参考になった。技術職員のみなさんにこのキットの組立サポートをお願いするにあたり、少しでもコツを理解いただけたのではと思われる。

企画：中川秀則

授業で行う新しい取り組みを事前にテストでき、問題点など修正して学生に提供できることは質の良い教育につながると考えており、関係する多くの方々の参加が実現できたことは企画した甲斐があったと、安堵と喜びです。

参加者の皆様ありがとうございました。